

活動報告

団体名	災害NGO 結
活動名	人吉市の復旧復興に向けた総合コーディネート支援事業
活動期間	2020/10/01～2021/5/31
活動の成果	<p>災害ボランティアセンター内に常駐し、ボラセン運営サポートとNPO活動をつなげることで、社協の災害ボランティアセンター運営への負担を減らすことができた。特に技術案件を引き取り、NPO ニーズとして分けたことで、社協スタッフが一般ニーズへの対応に集中することができた様子である。NPO 団体ごとの独特な特色を踏まえつつその活動を調整するのはNPO が得意な分野だと感じた。また同時にNPO 連携会議を実施。週1回だが、オンラインも取り入れつつ社協とNPO が一度に集まる機会を定期的に設けることで、お互いの困りごとを共有し、協働するための基礎ができた。</p> <p>コロナ禍の被災で支援者の総数が少なかったことなども影響して、外部支援者が少ないだけでなく、人吉市内の支援者獲得も難しかった。残念ながら人吉市内だけでは、技術案件に対応できる支援者の確保は難しく、今まで活動していた県内の団体なども、常時駐在する体制から移行している側面もある一方で、災害から1年以上が経過しているが、今になっての依頼もいくつか発生している。NPO 連携会議があることで、こうしたニーズが社協に寄せられても相談できる場があり、対応が可能な状況が作られている。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>誰も経験したことのない、コロナ禍の災害支援。コロナとどうやって付き合えばいいのか分からないなかでの活動で、普段できていたことができない状況もたくさんありました。特に災害発生直後、たくさんの人を集めることができず（その中でも本当にたくさんの方が来てくれたことは事実ですが）、初期に片付けていれば発生しなかった課題もありました。支援者の全体数が少なかったことで、全国からの注目も少なくなってしまった点もあります。</p> <p>被害の大きさ故でもあります。コロナ禍によって、普段のような復旧の手順を歩めていない点は、忘れてはいけない課題です。特に人吉球磨は、観光産業が盛んな地域です。災害の原因になった球磨川くだりや、温泉街など、素敵な観光スポットがたくさんあります。今は大きく人を呼び込めない状況ですが、コロナ禍が落ち着いたら、ぜひ、人吉球磨に遊びに来てほしいです。</p>

(活動のようす)

